

令和7年度 第1回鶴岡市学校給食センター運営委員会

日時：令和7年7月25日（金）午後3時～

場所：学校給食センター 2階会議室

1. 開会 （所長補佐）

2. あいさつ （成澤教育長）

3. 委員長の選出 選出なし

4. 報告 （議長 風間副委員長）

報告第1号：令和6年度鶴岡市学校給食センター運営状況について（資料により説明）

報告第2号：令和7年度鶴岡市学校給食センターの運営方針について（資料により説明）

委員：給食費の無償化は今後も継続するのか。

所長：期限を決めていないが、毎年、財政状況を見ながら継続を決定していくこととなる。

報道からの情報だが、国で来年度から小学生の給食費を無償化する方向性を示しており、今後も注視していく。

報告第3号：新学校給食センター整備事業の進捗について（資料により説明）

委員：昨年度に基本計画の策定を見送ったのは、何か問題があったからか。

所長：計画を策定するために主に市役所内部で検討を進めてきたが、議会やパブリックコメントにおいて市民からの意見聴取が不足していることを指摘されたことから、今年度1年をかけて意見聴取の場を設定して、市民の声を基本計画に盛り込んでいくこととした。

5. 意見交換（進行：大塚所長）

新学校給食センターにおける取組について（資料により説明）

委員：詳細な献立により家庭でも対応していただいております、大きな問題とはなっていない。

委員：アレルギー対応を行っていただいていることは大変ありがたく思っている。学校でも十分に気をつけてやっている。

委員：現在は詳細な献立表の配布にとどまっているので、除去食対応してもらえるのであればありがたい。

委員：本校には6年生にエビのアレルギー疾患児童が1人おり、今年度エビカツの提供があったのは6年生の給食提供がないときに提供された。学校では除去食対応可能なので、庄内の特産の入った献立を積極的に提供してほしい。

所長：年間を通じて使用しない食材を設定しているが、食の多様性確保とバランスを取っていく必要があると考えている。

委員：除去食・代替食の場合、カロリーや栄養価に配慮しているのか。

所長：除去食の場合、栄養が足りなくなれば家庭からの弁当対応とか、学校と保護者とが相談しながら対応してしていくこととしている。代替食では、取り除いた分を補完するものを提供している。

委員：アレルギー対応は除去食・代替食と手間がかかるので、手順を決めて間違いがないように設備等を整える必要がある。また、展示機能においては、自校給食では児童生徒が調理場をより身近かに感じられるメリットがあることから、引き続き、センターでも見学ができる施設としてほしい。

委員：試食会はやっていないのか。

所長：センターの中では試食はしていないが、希望があれば学校で試食できる制度がある。

5. その他

なし。

(閉 会)